

ふっかつ  
復活のイエス様に出会う

名前

ルカ 24・13～32

1、今日のみ言葉を書いて覚えましょう。

ルカ 24・31

2、目を閉じてみましょう。何か見えますか。

- ① ( ) 真っ暗                      ② ( ) 光                      ③ ( ) その他

3、心(霊)の目が閉じているってどういうことでしょうか。○はいくつでもいいよ。

- ① ( ) 目に見えない神様のことがわからない。  
 ② ( ) 天国、永遠の命、罪などのことがわからない。  
 ③ ( ) 自分のことがわからない。  
 ④ ( ) その他



4、イエス様はあっという間に、十字架に架けられ、死んで、葬られてしまいました。このような出来事が目の前で起こったら、あなたは何を感じ、またどうしますか。○はいくつでもいいよ。

- ① ( ) がっかりして、失望する。                      ② ( ) イエス様を十字架に架けた人々をうらむ。  
 ③ ( ) なぜイエス様をお救いできなかったのかと自分を責める。  
 ④ ( ) 何が起こったかわからなくなる。                      ⑤ ( ) その他



5、イエス様が死んで葬られてから、三日目によみがえられたというニュースを聞いたら、あなたは何を感じ、またどうしますか。○はいくつでもいいよ。

- ① ( ) でたらのニュースだと思う。                      ② ( ) 「ありえない」と思う。  
 ③ ( ) ニュースが本当かどうか調べる。                      ④ ( ) 信じる。                      ⑤ ( ) その他

6、わくの中の「じ」「ゆ」「う」「じ」「か」の文字を塗りつぶしましょう。残った文字を並べると、どんな言葉がでできますか。

	イ	じ	ス	れ
か	じ	ゆ	う	じ
ら	き	う	生	る
	お	じ	エ	
	は	か	て	

イ ○ ○ ○ は  
 ○ ○ ○ お ○ ○ ○ る

7、あなたの心(霊)の目は見えていますか。

- ① ( ) はい                      ② ( ) いいえ

🙏お祈り🙏 神様、私の心(霊)の目を開いて、イエス様が今も生きておられることがはっきりとわかるようにしてください。 ..... アーメン。

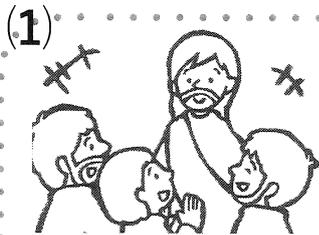
# イエス様しんを信じて生きよう！ 名前

ヨハネ 20・24～29

## 1、今日のみ言葉を書いて覚えましょう。

ヨハネ 20・29

## 2、復活されたイエス様ふっかつが弟子たちでしに姿を現すがたあらわされました。質問しつもんに答えながらその様子ようすを見てみましょう。

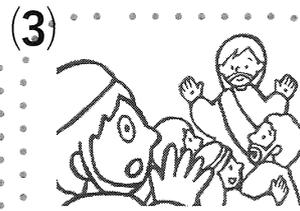
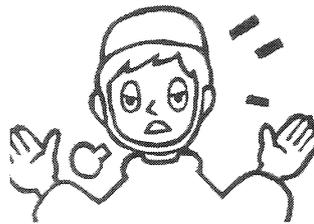


イエス様が、弟子たちが集まっている閉め切った部屋へやに入ってこられました。ちょうどそこに一人だけいなかった弟子がいます。だれでしょうか？

- ① ( ) ピリポ
- ② ( ) ヤコブ
- ③ ( ) トマス

(2) イエス様にお会いした弟子たちが、そこにいなかった弟子に一生懸命いっしょうけんめいに説明せつめいしました。彼はそれを聞いてどうしましたか。

- ① ( ) 絶対信じないと言った。
- ② ( ) すぐに信じた。



それから一週間いっしゅうかん後に、イエス様がまた入ってこられました。今度はトマスも一緒いっしょでした。

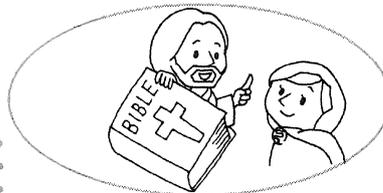
イエス様はトマスに何を言われましたか。

- ① ( ) 「だあれだ？」と言われた。
- ② ( ) 「あなたの指ゆびをここに付けて、わたしの手を見、手を伸ばして、わたしのわきに差し入れてみなさい」と言われた。



イエス様にお会いしたトマスは何と告白こくはくしましたか。

- ① ( ) 「わが主しゅよ、わが神かみよ」。
- ② ( ) 「こっこのこれは、夢ゆめだ」。



(5) 戸を閉めていても入って来られ、トマスの言葉もちゃんと聞いておられたイエス様は、私たちがどこにいても共にともにおられ、私たちの会話かいわを聞いておられます。そして聖書せいしょの言葉を通して、はっきりとわかるようにしてください。あなたもイエス様を信じて生きていきませんか。

- ① ( ) はい ② ( ) いいえ



🙏お祈り🙏 神様、私も見ないで信じる幸いなものになれますように。  
..... アーメン。

ぼくも、わたしも、「キリストの証人」！名前

ルカ 24・44～53

1、今日のみ言葉を書いて覚えましょう。

ルカ 24・48

2、イエス様がむち打たれたり、十字架にかかれたこと、また三日目によみがえられたことは、偶然の出来事でしたか。

① ( ) 偶然 ② ( ) 偶然ではない		<input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> (ずっと昔から聖書に 約束されていたことで、 聖書の言葉は必ずその とおりになります)。
--------------------------	---	---

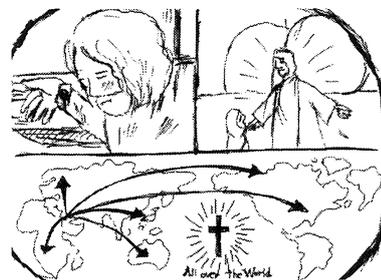
3、イエス様は弟子たちに「あなたがたは、、、証人である」と言われました。証人ってどんな人のことでしょうか。

- ① ( ) 本当にあったことだとはっきり言える人。
- ② ( ) 商人すなわち物を売り買いする人。

4、救われた人はだれでもイエス様の十字架と復活の証人になれるが、そのために必要なものは何でしょうか。①～③の答えをわくの中にも書き、回りの字をカタカナはひらがなにしておき、答えを○の中に書きましょう。

- ① 天にあげられたのはだれ？
- ② 神様の言葉が書かれているものは？
- ③ イエス様の名によって、罪のゆるしを得させる悔い改めがはじまる場所は？ (47節)

①					
②					
③					



こたえ → ○ ○ ○ ○

お祈り 神様、聖霊を与えてくださり、主の証人とならせてください。  
 ..... アーメン。

さいりん やくそく  
キリスト再臨の約束

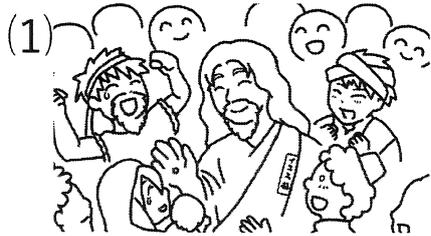
名前

使徒 1・9～11

1、今日のみ言葉を書いて覚えましょう。

使徒 1・11

2、3つの場面の弟子たちの気持ちを考えてみましょう。正解はないので○はいくつでもいいよ。



よみがえられたイエス様にお会いした時、弟子たちはどんなきもちだったでしょうか。

- ① ( ) 飛び上がるほどうれしい。
- ② ( ) びっくり!
- ③ ( ) 神様はすごい!
- ④ ( ) その他



これからイエス様といっしょだ! イエス様は王様になれるかな! と思っていたら、イエス様は「聖霊がくだる時、、、」と聖霊を待つ話ばかりされました。弟子たちはどんなきもちだったでしょうか。

- ① ( ) やきもき。
- ② ( ) どういうこと?
- ③ ( ) 了解!
- ④ ( ) その他



イエス様は話をされたあと、弟子たちがみている前で、体が宙に浮きどンドン天に上って行きました。弟子たちはどんなきもちだったでしょうか。

- ① ( ) あれれれれ
- ② ( ) ぼか〜ん
- ③ ( ) その他

3、イエス様は天に昇られました。今イエス様はどこにおられるでしょうか。正しいもの全てに○をつけよう。

- ① ( ) 父なる神様の隣り
- ② ( ) 信じる者と共に
- ③ ( ) 信じる者の心の中に

4、今、イエス様を信じる人々によって、全世界に福音宣教がなされています。天使たちによると、このあとどうなるのでしょうか。

- ① ( ) 止むことなく、宣教が続けられる。
- ② ( ) やがてイエス様が来られる。

お祈り ☺ 神様、イエス様を信じる私たちと今も一緒にいてくださることを感謝します。そしてやがて目に見える形で再び来てくださることを楽しみにして待ち望みます。 ..... アーメン。

# せいれいたいぼう いの 聖霊待望の祈り

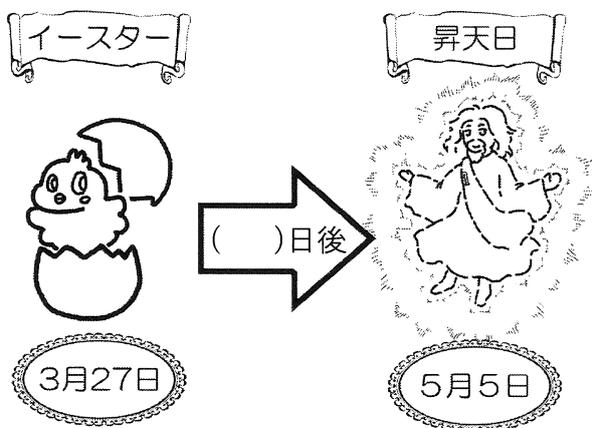
名前

使徒 1・12～14

1、今日のみ言葉を書いて覚えましょう。

使徒 1・14

2、イースターから何日後に、イエス様は天に昇られたのでしょうか。



3、イエス様は弟子たちの目の前で、天に昇って行かれました。でも弟子たちがどのように過ごせばいいか、ちゃんと教えてくださっていました。それは何でしょうか。

- ① ( ) 健康けんこうに気をつけて生活せいかつしなさい。
- ② ( ) エルサレムから離れないで、父の約束やくそくである聖霊せいれいを待ち望のぞみなさい。
- ③ ( ) エルサレムは危険まけんがいっぱいだから逃にげなさい。

4、イエス様の言葉ことばに従したがって祈り始めました。

(1)だれがあつ集まっていたか。

- ① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_ ③ \_\_\_\_\_ ④ \_\_\_\_\_ ⑤ \_\_\_\_\_
- ⑥ \_\_\_\_\_ ⑦ \_\_\_\_\_ ⑧ \_\_\_\_\_ ⑨ \_\_\_\_\_ ⑩ \_\_\_\_\_
- ⑪ \_\_\_\_\_

その他に        婦人たち        イエス様の母 (     )        イエス様の (     )

(2)どんな祈りいのでしたか。□のわくの中から言葉ことばを選んで (     ) に書きましょう。

(①            ) を合わせて、(②            ) 祈った。

**手 ・ 心 ・ 時々ときどき ・ 短くみじか ・ ひたすら**

🙏お祈り😊 神様、私もイエス様のお約束やくそくを信じます。聖霊が与えられるまで、教会の人たちと心を合わせて祈らせてください ..... アーメン。

しゅくふく  
神に祝福された人ルツ (母の日) 名前

ルツ 1・15～18

1、今日のみ言葉を書いて覚えましょう。

ルツ 1・16

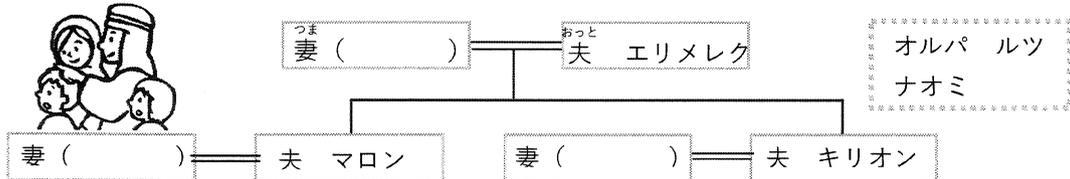
2、あなたは<sup>こんなん</sup>困難があった時、あきらめやすいですか。

- ① ( ) はい      ② ( ) いいえ      ③ ( ) どちらでもない

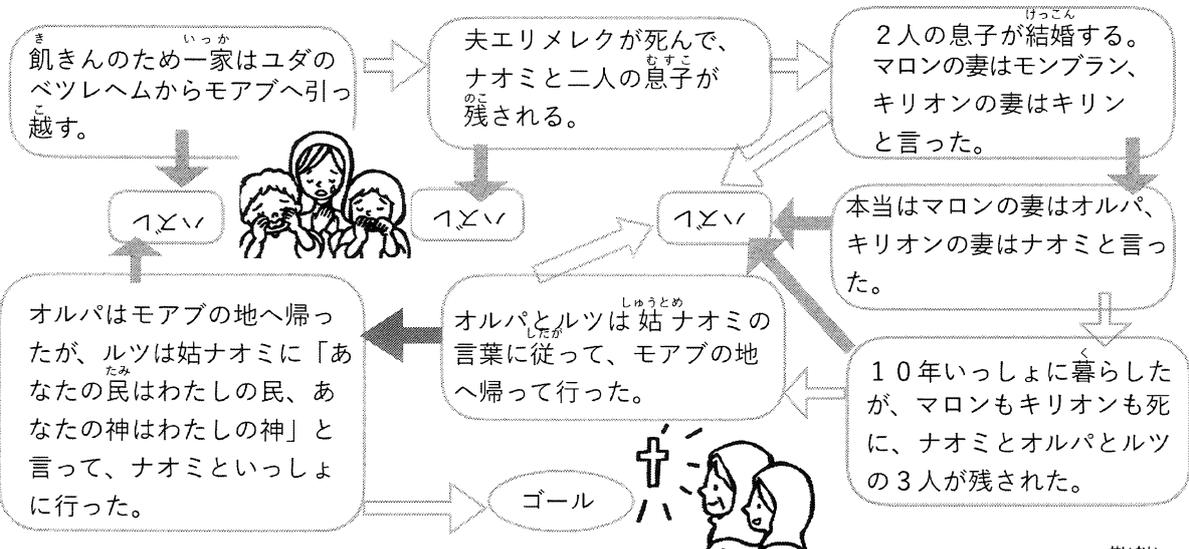
3、あなたはどうしていかわからない時、まわりの人がどうしているか気になりますか。

- ① ( ) はい      ② ( ) いいえ      ③ ( ) どちらでもない

4、今日の登場人物の家系図に、□の中の3人から名前を選んで正しい ( ) に入れます。



5、いったいこの家族に何が起こったのでしょうか。「はい」「いいえ」のいずれかの矢印をとって、ゴールまで進みましょう。「はい」は⇒、「いいえ」は⇨にすすみましょう。



6、ルツは夫も死んでしまったのに、なぜナオミといっしょにユダの地へ行ったとおもいますか。正解はありません。あなたが思うものに○をつけよう。○はいくつでもいいよ。

- ① ( ) ナオミのことが大好きでお別れしなかつた。      ② ( ) ナオミの信じている神様を自分も信じたかった。      ③ ( ) ナオミが一人で旅をするのはかわいそうだった。  
 ④ ( ) 自分の国の偶像の神様より、真の神様を選びたかった。      ⑤ ( ) 人々の目が気になった。

お祈り 神様、苦難がきたり、誘惑があったら、簡単にあなたを捨てることのないようにお守りください。 ..... アーメン。

せいれい み  
聖霊に満たされよう

名前

使徒 2・1～11

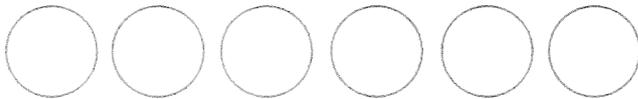
1、今日のみ言葉を書いて覚えましょう。

使徒 2・4

2、教会では3つの大きなお祝いがあります。(1)クリスマス (2)イースター、今日は3つ目です。何というお祝いですか。①～⑩の答えをぬりつぶし、残ったカタカナを並べかえて答えよう。

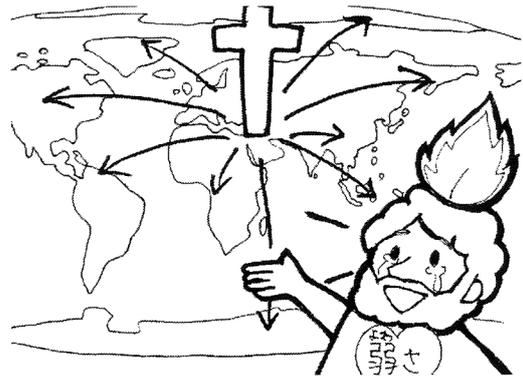
こ	じゅん	せつ	せい	れい
五	旬	節	聖	霊
ぺ	幻	コ	かぜ	しん
			風	信
テ	ペ	テ	テ	こう
				仰
口	ゆめ	ス	し	ぶか
	夢		使	深
驚	き	ン	と	い
			徒	
た	こく	の	こと	ば
他	国		言	葉

- ① 過越の祭から50日目の祭(1節)。
- ② イエス様の約束で、これに満たされてイエス様の証人となる。
- ③ 立ち上がって語りかけた弟子(14節)。
- ④ 若者たちが見るもの(17節)。
- ⑤ 突然吹いてきたもの(2節)。
- ⑥ 神を熱心に信じること。
- ⑦ 老人たちが見るもの(17節)。
- ⑧ イエス様の弟子(6節)。
- ⑨ びっくりすること。
- ⑩ 外国の言葉。



3、聖霊に満たされるとどんな変化がありますか。違うもの一つに×をつけよう。

- ① ( ) 新しく生まれ変わる。
- ② ( ) 造り変えられる。
- ③ ( ) 力が与えられる。
- ④ ( ) 筋肉がムキムキになる。
- ⑤ ( ) イエス様をお伝えするようになる。
- ⑥ ( ) 恵みに満たされる。
- ⑦ ( ) 恐れや疑いがのぞかれる。



4、弟子たちが聖霊に満たされ、イエス様のことを大胆に宣べ伝えるようになったのは、何という預言者が預言していたことでしょうか。○をつけよう。

- ① ( ) イザヤ
- ② ( ) エリヤ
- ③ ( ) ヨエル

お祈り 神様、聖霊に満たしてください、イエス様を伝える者としてください。  
..... アーメン。

# C 2016 5/22 イエス様からパワーをもらおう!

◆<sup>せい</sup>聖<sup>しよ</sup>書<sup>しと</sup>使徒 3・1～10 <sup>なまえ</sup>名前 [ ]  
◆<sup>あんしょうせいこく</sup>暗唱聖句<sup>しと</sup>使徒 3・6

今日の暗唱聖句を書きましょう。

1. ペテロとヨハネは、どうやって男<sup>おとこ</sup>の人の足<sup>あし</sup>を治<sup>なお</sup>しましたか？

- ( ) 救急車<sup>きゅうきゅうしゃ</sup>をよんで、大きい病院<sup>おおいびょういん</sup>につれていった。
- ( ) よい薬<sup>くすり</sup>を買う<sup>か</sup>ために、お金<sup>かね</sup>をたくさんあげた。
- ( ) 「気合だ〜」と言って、力<sup>ちから</sup>まかせに無理やり<sup>むりやり</sup>立たせた。
- ( ) 「イエス・キリストの名<sup>な</sup>によって歩<sup>ある</sup>きなさい」と言った。



2. 正しい<sup>ただ</sup>と思う<sup>おも</sup>ものに○をしてください。

- ( ) ペテロは自分<sup>じぶん</sup>が有名<sup>ゆうめい</sup>になりたいので、奇跡<sup>きせき</sup>をおこした。
- ( ) ペテロとヨハネは、イエス様<sup>さま</sup>が復活<sup>ふっかつ</sup>された救い主<sup>すくぬし</sup>であることを信<sup>しん</sup>じていた。
- ( ) ペテロの言葉<sup>ことば</sup>がりっぱだったので、奇跡<sup>きせき</sup>がおこった。
- ( ) ペテロとヨハネは、イエス様のいやし<sup>さま</sup>の力<sup>ちから</sup>を信<sup>しん</sup>じていた。

3. 下<sup>した</sup>のそれぞれの人の気持<sup>ひと</sup>ちを想像<sup>そうそう</sup>して書<sup>か</sup>いてください。

① 歩<sup>ある</sup>けるようになった男<sup>おとこ</sup>の人<sup>ひと</sup>

② それを見<sup>み</sup>た周り<sup>まわ</sup>りにいた人<sup>ひと</sup>々

4. あなたも、イエス様<sup>さま</sup>のお名前<sup>なまえ</sup>を信<sup>しん</sup>じて祈<sup>いの</sup>り、そのすばらしさ<sup>たいけん</sup>を体験<sup>たいけん</sup>しよう!

あなたはどんなこと<sup>いの</sup>をお祈<sup>いの</sup>りしますか？

☆お祈<sup>いの</sup>り：天<sup>てん</sup>の父<sup>ちち</sup>なる神<sup>かみさま</sup>様<sup>かみさま</sup>。神<sup>わたし</sup>様が私<sup>いの</sup>の祈<sup>いの</sup>りに答<sup>こた</sup>えてくださることを信<sup>しん</sup>じます。  
イエス様<sup>さま</sup>のお名前<sup>なまえ</sup>によってお祈<sup>いの</sup>りします。アーメン。

C 2016 5/29 かみさま おそ せいかつ  
神様を畏れて生活しよう

◆<sup>せい</sup>聖<sup>しょ</sup>書<sup>しと</sup>使徒5・1～11 <sup>なまえ</sup>名前 [ ]  
◆<sup>あんしょうせい</sup>暗唱聖句<sup>しと</sup>使徒5・11

今日の暗唱聖句を書きましょう。

1. アナニヤとサツピラは、なぜ<sup>かみさま</sup>神様を<sup>おち</sup>あざむいてしまったのでしょうか？
- ( ) <sup>かね</sup>お金を<sup>けんきん</sup>すべて<sup>おち</sup>献金するのは、もったいない<sup>おち</sup>と思ってしまったから。
  - ( ) <sup>だれ</sup>誰も<sup>み</sup>見ていなければ、<sup>おち</sup>ごまかしても<sup>おち</sup>ばれない<sup>おち</sup>と思ったから。
  - ( ) <sup>おち</sup>ちょっとした<sup>わる</sup>ごまかしは、<sup>おち</sup>そんなに<sup>わる</sup>悪い<sup>おち</sup>ことではない<sup>おち</sup>と思っていたから。

2. アナニヤとサツピラの<sup>できごと</sup>出来事<sup>かみさま</sup>をと<sup>かた</sup>おして、<sup>かた</sup>神様は<sup>かた</sup>どのような<sup>かた</sup>お方<sup>かた</sup>でしょうか？



3. <sup>かみさま</sup>神様に<sup>よろこ</sup>喜ばれる<sup>せいかつ</sup>生活とは、<sup>せいかつ</sup>どのような<sup>せいかつ</sup>生活<sup>せいかつ</sup>ですか？
- ( ) <sup>かみさま</sup>神様を<sup>おそ</sup>畏れて<sup>せいかつ</sup>生活<sup>せいかつ</sup>すること。
  - ( ) <sup>すこ</sup>ばれなければ、<sup>わる</sup>少し<sup>だいいょうぶ</sup>ぐらい<sup>かんが</sup>悪い<sup>せいかつ</sup>ことを<sup>せいかつ</sup>しても<sup>せいかつ</sup>大丈夫<sup>せいかつ</sup>と<sup>せいかつ</sup>考<sup>せいかつ</sup>える<sup>せいかつ</sup>生活<sup>せいかつ</sup>。
  - ( ) <sup>じぶん</sup>自分の<sup>せいかつ</sup>こと<sup>せいかつ</sup>だけ<sup>せいかつ</sup>考<sup>せいかつ</sup>えて<sup>せいかつ</sup>生活<sup>せいかつ</sup>すること。
  - ( ) <sup>わる</sup>悪い<sup>かみさま</sup>ことを<sup>せいかつ</sup>して<sup>せいかつ</sup>しまっ<sup>せいかつ</sup>ても、<sup>せいかつ</sup>すぐ<sup>せいかつ</sup>に<sup>せいかつ</sup>「<sup>せいかつ</sup>神様<sup>せいかつ</sup>ご<sup>せいかつ</sup>めん<sup>せいかつ</sup>な<sup>せいかつ</sup>さい<sup>せいかつ</sup>」<sup>せいかつ</sup>と<sup>せいかつ</sup>祈<sup>せいかつ</sup>る<sup>せいかつ</sup>生活<sup>せいかつ</sup>。
  - ( ) <sup>かみさま</sup>いつも<sup>こわ</sup>神様<sup>せいかつ</sup>を<sup>せいかつ</sup>恐<sup>せいかつ</sup>が<sup>せいかつ</sup>って<sup>せいかつ</sup>生活<sup>せいかつ</sup>すること。

4. <sup>かみさま</sup>神様<sup>おそ</sup>を<sup>おそ</sup>畏<sup>おそ</sup>れる<sup>おそ</sup>こととは、<sup>おそ</sup>どう<sup>おそ</sup>いう<sup>おそ</sup>こと<sup>おそ</sup>で<sup>おそ</sup>しょう<sup>おそ</sup>か？

☆<sup>いの</sup>お祈<sup>てん</sup>り：<sup>ちち</sup>天<sup>かみさま</sup>の<sup>かみさま</sup>父<sup>かみさま</sup>なる<sup>かみさま</sup>神<sup>ばん</sup>様<sup>かんが</sup>。いつも<sup>かみさま</sup>神<sup>ばん</sup>様<sup>かんが</sup>を<sup>かみさま</sup>1<sup>かんが</sup>番<sup>かんが</sup>に<sup>かみさま</sup>考<sup>かんが</sup>える<sup>かんが</sup>こと<sup>かんが</sup>が<sup>かんが</sup>でき<sup>かんが</sup>ます<sup>かんが</sup>よ<sup>かんが</sup>う<sup>かんが</sup>に、<sup>かみさま</sup>神<sup>ばん</sup>様<sup>かんが</sup>が<sup>かんが</sup>喜<sup>かんが</sup>ばれる<sup>かんが</sup>こと<sup>かんが</sup>に、<sup>よろこ</sup>心<sup>よろこ</sup>を<sup>よろこ</sup>向<sup>よろこ</sup>ける<sup>よろこ</sup>こと<sup>よろこ</sup>が<sup>よろこ</sup>でき<sup>よろこ</sup>ます<sup>よろこ</sup>よ<sup>よろこ</sup>う<sup>よろこ</sup>に<sup>よろこ</sup>導<sup>よろこ</sup>いて<sup>よろこ</sup>くだ<sup>よろこ</sup>さい。  
イエス<sup>さま</sup>様<sup>なまえ</sup>の<sup>いの</sup>お名<sup>いの</sup>前<sup>いの</sup>によ<sup>いの</sup>って<sup>いの</sup>お祈<sup>いの</sup>り<sup>いの</sup>しま<sup>いの</sup>す。ア<sup>いの</sup>ー<sup>いの</sup>メ<sup>いの</sup>ン。

C 2016 6/5

てん み あ  
天を見上げて

◆ 聖書 使徒 7・54～60

名前 [ ]

◆ 暗唱聖句 使徒 7・56

今日の暗唱聖句を書きましょう。

1. ステパノは、どんな人でしたか。あてはまるものに○をつけましょう。  
( ) 教会を助け、教会のために働いていた人。  
( ) イエス様を信じたばかりで、まだ聖書のこともよく知らない人。  
( ) 信仰と聖霊に満たされていた人。  
( ) イエス様のことが大好きで、いつもイエス様のことを伝えていた人。

2. ステパノは、どうして「殉教」しなければならなかったのでしょうか。  
( ) 人々に嫌われていたから。  
( ) ステパノの知恵や正しさをねたんだ人たちにうその証言をされたから。  
( ) ステパノは、自分が助かりたいとは思わず、イエス様こそ救い主だと証言したから。  
( ) 石打ちの刑になるような、大きな罪を犯したから。

3. ステパノは、死ぬ間際に何をみて、何と言いましたか。( ) に書きましょう。  
① ( ) を見た。  
② ステパノはイエス様をみて言った、  
( ) 。  
③ そして、ひざまずいて叫んだ、  
( ) 。

4. では、あなたはつらく悲しい思いをした時にどうしますか？



☆お祈り：天の父なる神様。つらく悲しいとき、ステパノのように天の神様を見上げて、イエス様を証しできるように助けてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

# C 2016 6/12 <sup>かお</sup>キリストの香りとして

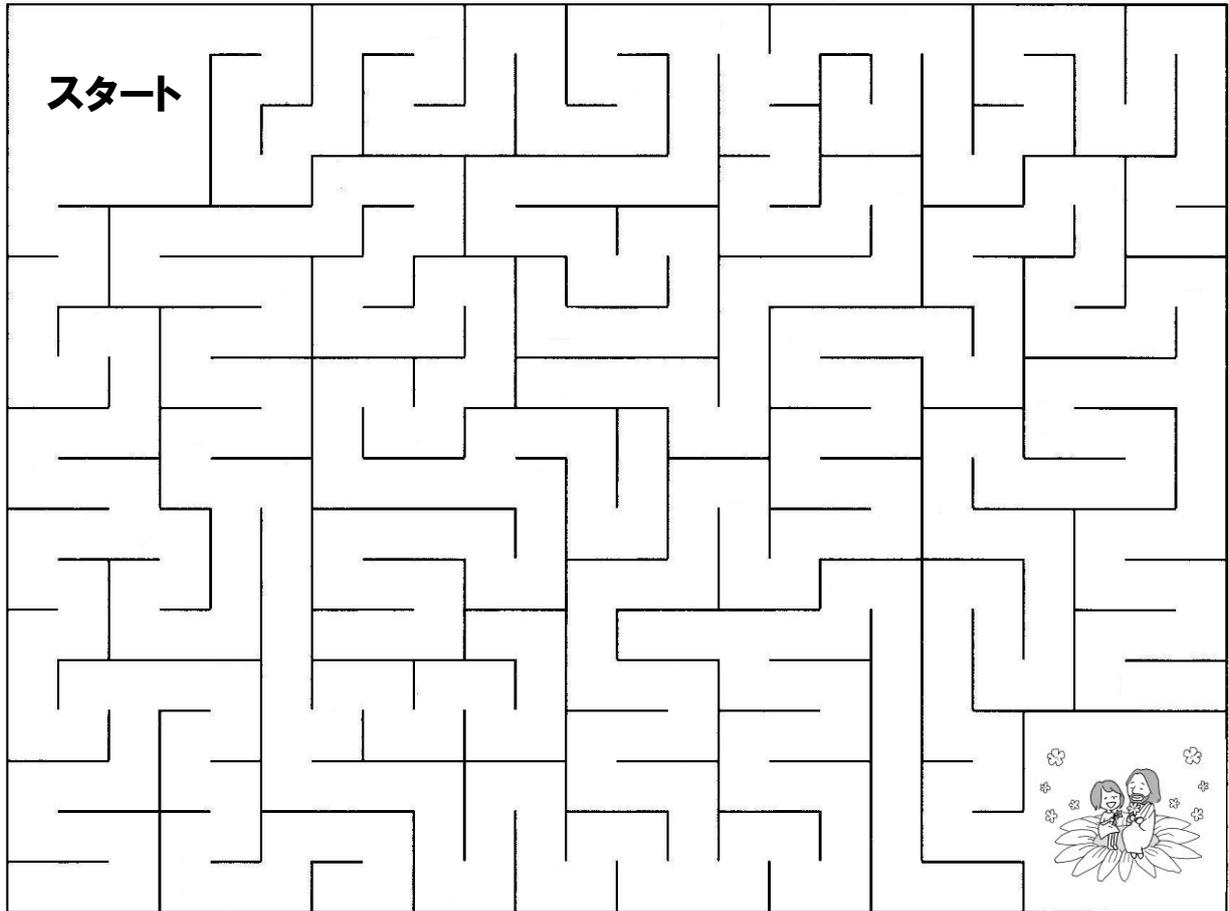
◆<sup>せい</sup>聖書 <sup>しよ</sup>Ⅱコリント 2・12~17 <sup>なまえ</sup>名前 [                      ]  
◆<sup>あんしょうせい</sup>暗唱聖句 <sup>く</sup>Ⅱコリント 2・14

今日の暗唱聖句を書きましょう。

1. イエス様を救い主と信じる人にとって「キリストのかおり」とは何でしょう？  
線で結んでください。

イエス様を信じる人・	<ul style="list-style-type: none"><li>• いのちに<sup>いた</sup>至らせるかおり</li><li>• 死に<sup>いた</sup>至らせるかおり</li></ul>
------------	---

2. イエス様のところまで進みましょう。



☆お祈り：天の父なる神様。イエス様を救い主と信じて、キリストのかおりを届ける人  
にしてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

C 2016 6/19 <sup>かみ た かえ</sup> 神に立ち返った放蕩息子 <sup>ほうとうむすこ</sup>

◆ <sup>せい</sup> 聖 <sup>しょ</sup> 書 ルカ 15・11～24 <sup>なまえ</sup> 名前 [ ]  
◆ <sup>あんしょうせい</sup> 暗唱聖句 ルカ 15・24

今日の暗唱聖句を書きましょう。

1. <sup>はなし</sup> お話 <sup>じゅんばん</sup> 順番 <sup>ばんごう</sup> どの番 <sup>ばんごう</sup> 号 <sup>ばんごう</sup> をつけましょう。  
( ) <sup>むすこ</sup> 息子は <sup>ざいさん</sup> もらった <sup>かね</sup> 財産 <sup>あそ</sup> をお金 <sup>あそ</sup> にかえて <sup>あそ</sup> 遊び <sup>あそ</sup> ほうけた。  
( ) <sup>ざいさん</sup> 財産 <sup>つか</sup> を使 <sup>は</sup> い果 <sup>は</sup> たした <sup>は</sup> ときに、<sup>あそ</sup> ききん <sup>あそ</sup> がおこった。  
( ) <sup>むすこ</sup> 息子は <sup>かね</sup> お金 <sup>ふた</sup> がなくな <sup>せわ</sup> ったので、<sup>しごと</sup> 豚 <sup>しごと</sup> の世 <sup>しごと</sup> 話 <sup>しごと</sup> をする <sup>しごと</sup> 仕事 <sup>しごと</sup> についた。  
( ) <sup>とう</sup> お父 <sup>し</sup> さんが <sup>ざいさん</sup> 死 <sup>いま</sup> んだら <sup>いま</sup> もら <sup>いま</sup> える <sup>いま</sup> 財 <sup>いま</sup> 産 <sup>いま</sup> を <sup>いま</sup> 今 <sup>いま</sup> くだ <sup>いま</sup> さい <sup>いま</sup> ! と <sup>いま</sup> お願 <sup>いま</sup> い <sup>いま</sup> した。  
( ) <sup>ふた</sup> 豚 <sup>た</sup> の食 <sup>た</sup> べる <sup>た</sup> い <sup>た</sup> な <sup>た</sup> ご <sup>た</sup> 豆 <sup>た</sup> を <sup>た</sup> 食 <sup>た</sup> べ <sup>た</sup> たい <sup>た</sup> ほど、<sup>た</sup> お <sup>た</sup> な <sup>た</sup> か <sup>た</sup> が <sup>た</sup> す <sup>た</sup> い <sup>た</sup> て <sup>た</sup> いた。



2. 「<sup>とう</sup> お父 <sup>ところ</sup> さんの <sup>かえ</sup> 所 <sup>かえ</sup> へ <sup>かえ</sup> 帰 <sup>かえ</sup> ろう」と <sup>おも</sup> 思 <sup>おも</sup> った <sup>おも</sup> とき <sup>おも</sup> の <sup>おも</sup> 息 <sup>おも</sup> 子 <sup>おも</sup> の <sup>おも</sup> き <sup>おも</sup> も <sup>おも</sup> ち <sup>おも</sup> を <sup>おも</sup> え <sup>おも</sup> ら <sup>おも</sup> ん <sup>おも</sup> で <sup>おも</sup> くだ <sup>おも</sup> さい。
- ( ) <sup>かね</sup> あ <sup>かね</sup> っ、<sup>かね</sup> お <sup>かね</sup> 金 <sup>かね</sup> が <sup>かね</sup> な <sup>かね</sup> く <sup>かね</sup> な <sup>かね</sup> っ <sup>かね</sup> た <sup>かね</sup> か <sup>かね</sup> ら、<sup>かね</sup> も <sup>かね</sup> う <sup>かね</sup> 一 <sup>かね</sup> 度 <sup>かね</sup> お <sup>かね</sup> 金 <sup>かね</sup> を <sup>かね</sup> も <sup>かね</sup> ら <sup>かね</sup> い <sup>かね</sup> に <sup>かね</sup> 帰 <sup>かね</sup> ろ <sup>かね</sup> う !
- ( ) <sup>きぶん</sup> と <sup>きぶん</sup> っ <sup>きぶん</sup> て <sup>きぶん</sup> も <sup>きぶん</sup> み <sup>きぶん</sup> じ <sup>きぶん</sup> め <sup>きぶん</sup> な <sup>きぶん</sup> 気 <sup>きぶん</sup> 分 <sup>きぶん</sup> だ <sup>きぶん</sup> な <sup>きぶん</sup> あ <sup>きぶん</sup> っ。
- ( ) <sup>た</sup> お <sup>た</sup> い <sup>た</sup> し <sup>た</sup> い、<sup>た</sup> ほ <sup>た</sup> う <sup>た</sup> と <sup>た</sup> う <sup>た</sup> が <sup>た</sup> 食 <sup>た</sup> べ <sup>た</sup> たい <sup>た</sup> な <sup>た</sup> あ <sup>た</sup> っ。
- ( ) <sup>とう</sup> <sup>かね</sup> <sup>つか</sup> <sup>は</sup> <sup>は</sup> ぼ <sup>は</sup> く <sup>は</sup> は、<sup>は</sup> お <sup>は</sup> 父 <sup>は</sup> さん <sup>は</sup> の <sup>は</sup> お <sup>は</sup> 金 <sup>は</sup> を <sup>は</sup> 使 <sup>は</sup> い <sup>は</sup> 果 <sup>は</sup> た <sup>は</sup> し <sup>は</sup> て <sup>は</sup> な <sup>は</sup> ん <sup>は</sup> て <sup>は</sup> バ <sup>は</sup> カ <sup>は</sup> な <sup>は</sup> こ <sup>は</sup> と <sup>は</sup> を <sup>は</sup> し <sup>は</sup> た <sup>は</sup> ン <sup>は</sup> だ 。

3. 19 <sup>せつ</sup> 節 <sup>よ</sup> を <sup>よ</sup> 読 <sup>よ</sup> ん <sup>よ</sup> で、<sup>とう</sup> お <sup>むすこ</sup> 父 <sup>おとうと</sup> さん <sup>おち</sup> は <sup>おち</sup> 息 <sup>おち</sup> 子 <sup>おち</sup> ( <sup>おち</sup> 弟 <sup>おち</sup> ) <sup>おち</sup> の <sup>おち</sup> こ <sup>おち</sup> と <sup>おち</sup> を <sup>おち</sup> ど <sup>おち</sup> う <sup>おち</sup> 思 <sup>おち</sup> っ <sup>おち</sup> て <sup>おち</sup> いた <sup>おち</sup> と <sup>おち</sup> 思 <sup>おち</sup> い <sup>おち</sup> ま <sup>おち</sup> す <sup>おち</sup> か ?
- ( ) <sup>かね</sup> オ <sup>かね</sup> っ <sup>かね</sup> の <sup>かね</sup> お <sup>かね</sup> 金 <sup>かね</sup> を <sup>かね</sup> 返 <sup>かね</sup> せ <sup>かね</sup> ! <sup>むすこ</sup> この <sup>おち</sup> バ <sup>おち</sup> カ <sup>おち</sup> 息 <sup>おち</sup> 子 <sup>おち</sup> ! <sup>おち</sup> と <sup>おち</sup> 思 <sup>おち</sup> っ <sup>おち</sup> て <sup>おち</sup> いた。
- ( ) <sup>げんき</sup> ち <sup>げんき</sup> ゃ <sup>げんき</sup> ん <sup>げんき</sup> と <sup>げんき</sup> 元 <sup>げんき</sup> 気 <sup>げんき</sup> で <sup>げんき</sup> や <sup>げんき</sup> っ <sup>げんき</sup> て <sup>げんき</sup> り <sup>げんき</sup> る <sup>げんき</sup> かな <sup>げんき</sup> ? <sup>しんぱい</sup> カ <sup>しんぱい</sup> ぜ <sup>しんぱい</sup> を <sup>しんぱい</sup> ひ <sup>しんぱい</sup> い <sup>しんぱい</sup> て <sup>しんぱい</sup> い <sup>しんぱい</sup> な <sup>しんぱい</sup> い <sup>しんぱい</sup> か <sup>しんぱい</sup> 心 <sup>しんぱい</sup> 配 <sup>しんぱい</sup> だ、<sup>おち</sup> と <sup>おち</sup> 思 <sup>おち</sup> っ <sup>おち</sup> て <sup>おち</sup> いた。
- ( ) <sup>むすこ</sup> 息 <sup>おおかね</sup> 子 <sup>も</sup> が <sup>ざいさん</sup> 大 <sup>ばいがえ</sup> 金 <sup>も</sup> 持 <sup>も</sup> ち <sup>も</sup> に <sup>も</sup> な <sup>も</sup> っ <sup>も</sup> て <sup>も</sup> いた <sup>も</sup> ら <sup>も</sup> ば <sup>も</sup> たら <sup>も</sup> 、<sup>も</sup> 財 <sup>も</sup> 産 <sup>も</sup> を <sup>も</sup> 倍 <sup>も</sup> 返 <sup>も</sup> し <sup>も</sup> て <sup>も</sup> も <sup>も</sup> ら <sup>も</sup> お <sup>も</sup> う ! <sup>おち</sup> と <sup>おち</sup> 思 <sup>おち</sup> っ <sup>おち</sup> て <sup>おち</sup> いた。
- ( ) <sup>かえ</sup> い <sup>かえ</sup> つ <sup>かえ</sup> 帰 <sup>かえ</sup> っ <sup>かえ</sup> て <sup>かえ</sup> き <sup>かえ</sup> て <sup>かえ</sup> も <sup>かえ</sup> い <sup>かえ</sup> い <sup>かえ</sup> よ <sup>かえ</sup> う <sup>かえ</sup> に <sup>かえ</sup> 用 <sup>かえ</sup> 意 <sup>かえ</sup> し <sup>かえ</sup> て <sup>かえ</sup> 待 <sup>かえ</sup> っ <sup>かえ</sup> て <sup>かえ</sup> い <sup>かえ</sup> よ <sup>かえ</sup> う、<sup>おち</sup> と <sup>おち</sup> 思 <sup>おち</sup> っ <sup>おち</sup> て <sup>おち</sup> いた。

4. 20 <sup>せつ</sup> 節 <sup>よ</sup> を <sup>よ</sup> 読 <sup>よ</sup> ん <sup>よ</sup> で、<sup>ほうとうむすこ</sup> あ <sup>きも</sup> な <sup>きも</sup> た <sup>きも</sup> が <sup>きも</sup> 放 <sup>きも</sup> 蕩 <sup>きも</sup> 息 <sup>きも</sup> 子 <sup>きも</sup> だ <sup>きも</sup> っ <sup>きも</sup> たら <sup>きも</sup> 、<sup>きも</sup> ど <sup>きも</sup> ん <sup>きも</sup> な <sup>きも</sup> 気 <sup>きも</sup> 持 <sup>きも</sup> ち <sup>きも</sup> に <sup>きも</sup> な <sup>きも</sup> り <sup>きも</sup> ま <sup>きも</sup> す <sup>きも</sup> か ?

☆ <sup>いの</sup> お <sup>てん</sup> 祈 <sup>ちち</sup> り <sup>かみさま</sup> : <sup>あ</sup> 天 <sup>あ</sup> の <sup>あ</sup> 父 <sup>あ</sup> なる <sup>あ</sup> 神 <sup>あ</sup> 様 <sup>あ</sup> 。 <sup>あ</sup> わ <sup>あ</sup> た <sup>あ</sup> し <sup>あ</sup> を <sup>あ</sup> い <sup>あ</sup> つ <sup>あ</sup> ま <sup>あ</sup> で <sup>あ</sup> も <sup>あ</sup> 愛 <sup>あ</sup> し <sup>あ</sup> 続 <sup>あ</sup> け <sup>あ</sup> て、<sup>あ</sup> 受 <sup>あ</sup> け <sup>あ</sup> 入 <sup>あ</sup> れ <sup>あ</sup> て <sup>あ</sup> く <sup>あ</sup> だ <sup>あ</sup> さ <sup>あ</sup> る <sup>あ</sup> 大 <sup>あ</sup> き <sup>あ</sup> な <sup>あ</sup> 愛 <sup>あ</sup> に <sup>あ</sup> 感 <sup>あ</sup> 謝 <sup>あ</sup> し <sup>あ</sup> ま <sup>あ</sup> す。 <sup>あ</sup> イ <sup>あ</sup> エ <sup>あ</sup> ス <sup>あ</sup> 様 <sup>あ</sup> の <sup>あ</sup> お <sup>あ</sup> 名 <sup>あ</sup> 前 <sup>あ</sup> に <sup>あ</sup> よ <sup>あ</sup> っ <sup>あ</sup> て <sup>あ</sup> お <sup>あ</sup> 祈 <sup>あ</sup> り <sup>あ</sup> し <sup>あ</sup> ま <sup>あ</sup> す。 <sup>あ</sup> ア <sup>あ</sup> ー <sup>あ</sup> メ <sup>あ</sup> ン。

C 2016 6/26 てん ひかり て 天からの光に照らされて

◆ 聖書使徒 9・1～19 名前 [ ]  
◆ 暗唱聖句 使徒 9・3

今日の暗唱聖句を書きましょう。

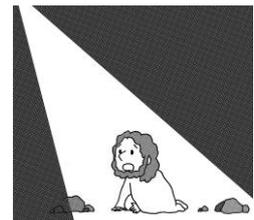
1. ( ) の中から正しい言葉を○で囲み、文章を完成してください。

- ① サウロはイエス様に出会う前は、( お店・教会 ) を荒し、家々に入って、男や女を引きずり出し、次々に( 牢屋・吉野屋 ) に入れるような人でした。〔8・3〕
- ② さらに主の( 弟子・けらい ) たちに対する脅かしと、( 殺意・愛情 ) に燃えていました。〔9・1〕
- ③ サウロが( コストコ・ダマスコ ) に行く途中、突然、天から( 光・雷 ) が彼を巡り照らし、「サウロ、サウロ、なぜわたしを( 迫害・拍手 ) するのか」という声が聞こえてきました。〔9・3～4〕
- ④ サウロが、「主よ。あなたはどなたですか？」というと、「わたしはあなたが迫害している( 斉藤さん・イエス ) である」というお答えがありました。〔9・5〕

2. 次のうちで正しいものに○をしてください。

- ① ( ) はじめアナニヤは、サウロが回心するなんて、信じることができなかった。
- ② ( ) 神様はサウロを、みことばを伝える器として選んだ。
- ③ ( ) サウロの目が見えなくなったのは、魚のうろこが目に入っていたからだ。
- ④ ( ) 神様は、はじめから立派な人だけを用いてくださる。
- ⑤ ( ) クリスマスを迫害しても、イエス様を迫害したことにはならない。
- ⑥ ( ) サウロは洗礼を受けて、数日後には「イエスは神の子です」と伝え始めた。

3. 神様は、どんな人でも新しく生まれ変わらせてくださいます。あなたはどのように神様に変えてもらいたいですか？



☆お祈り：天の父なる神様。私を神様の愛で満たしてください。そして、救い主イエス様を多くの人に伝えることができますように助けてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

# ワークC解説 4~6月

(4/3~5/15 上森恭子、5/22~6/26 田中裕明)

4/3

- 第1問 聖句を書き入れて読みましょう。
- 第2問 ①ですが、子どもによっては、瞼を閉じても光を感じる場合もあります。多種多様な意見に耳を傾けてください。
- 第3問 全て○です。④その他に○をつけた子どもがいたら、聞いてみましょう。できる限り否定はしないで、「そう思うんだね」とまずは受け止めましょう。
- 第4問 答えはありませんので、それぞれの気持ちを聞きます。
- 第5問 答えはありませんので、それぞれの気持ちを聞きます。  
4、5の質問はディスカッションに役立てましょう。
- 第6問

	イ	じ	ス	れ
か	じ	ゆ	う	じ
ら	き	う	生	る
	お	じ	エ	
	は	か	て	

イ エ ス は  
生 き て お ら れ る

- 第7問 各自、自分の心（霊）の目について答えます。

4/10

- 第1問 聖句を書き入れて読みましょう。
- 第2問 (1)③。(2)①。(3)②。(4)①。(5)各自自分の気持ちに○をつけます。

4/17

- 第1問 聖句を書き入れて読みましょう。
- 第2問 ②。
- 第3問 ①。
- 第4問

①

イ	エ	ス	さ	ま
---	---	---	---	---

②

せ	い	し	よ	
---	---	---	---	--

③

エ	ル	サ	レ	ム
---	---	---	---	---

こたえ → (せ) (い) (れ) (い)

4 / 24

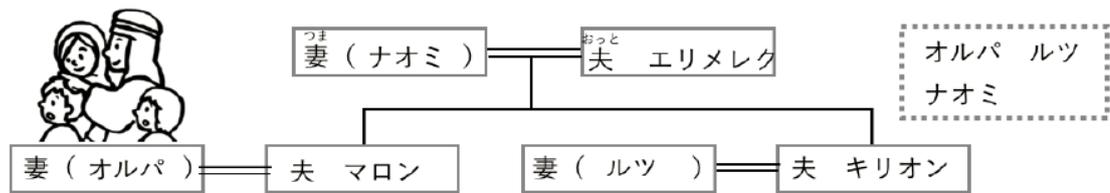
- 第1問 聖句を書き入れて読みましょう。
- 第2問 (1)それぞれ思うものに○をつけます。(2)それぞれ思うものに○をつけます。(3)それぞれ思うものに○をつけます。
- 第3問 ①②③全て○です。
- 第4問 ②。

5 / 1

- 第1問 聖句を書き入れて読みましょう。
- 第2問 (40)日後。
- 第3問 ②。
- 第4問 (1)順番はありません。①ペテロ、②ヨハネ、③ヤコブ、④アンデレ、⑤ピリポ、⑥トマス、⑦バルトロマイ、⑧マタイ、⑨ヤコブ、⑩シモン、⑪ユダ。その他に、婦人たち、イエス母の母(マリヤ)、イエス様の(兄弟)。(2)①心、②ひたすら。

5 / 8

- 第1問 聖句を書き入れて読みましょう。
- 第2問 各自自分のことに○をつけます。
- 第3問 各自自分のことに○をつけます。
- 第4問



- 第5問 矢印の方向がハズレの時は、元に戻って正しい方向へ進み、ゴールまで進みます。
- 第6問 各自思うものに○をつけます。ディスカッションに用いてください。

5 / 15

- 第1問 聖句を書き入れて読みましょう。
- 第2問

こ	じゅん	せつ	せい	れい
五	旬	節	聖	霊
ペ	幻	コ	かぜ	しん
			風	信
テ	ペ	テ	テ	こう
				仰
口	ゆめ	ス	し	ふか
	夢		使	深
驚	き	ン	と	い
			徒	
他	こく	の	こと	ば
	国		言	葉

ペ ン テ コ ス テ

- 第3問 ③のみ✕。
- 第4問 ③。

5 / 22

- 第1問 「イエス・キリストの名によって歩きなさい」と言った。
- 第2問 ペテロとヨハネは、イエス様が復活された救い主であることを信じていた。ペテロとヨハネは、イエス様のいやしの力を信じていた。
- 第3問 それぞれ自由に書かせてください。
- 第4問 子どもたちの思いを知るチャンスです。上手に導いてください。

5 / 29

- 第1問 ぜんぶ正解。
- 第2問 神様はきよく正しいお方、罪を裁かれるお方、罪を悔い改めるなら赦<sup>ゆる</sup>してくださいのお方など。
- 第3問 神様を畏<sup>おそ</sup>れて生活すること  
悪いことをしてしまっても、すぐに「神様ごめんなさい」と祈る生活
- 第4問 神様のことをいつも第一に考えること。神様の喜ばれることに心を向けること。  
神様のみ言葉に従うことなど。

6 / 5

- 第1問 教会を助け、教会のために働いていた人。信仰と聖霊に満たされたいた人。  
イエス様のことが大好きで、いつもイエス様のことを伝えていた人。
- 第2問 ステパノの知恵や正しさをねたんだ人たちにうその証言をされたから。  
ステパノは、自分が助かりたいと思わず、イエス様こそ救い主だと証言したから。
- 第3問 ①7・56 ②7・59 ③7・60
- 第4問 ステパノをみならいましょうと導いて下さい。

6 / 12

- 第1問 イエス様を信じる人 ————— いのちに至らせるかおり
- 第2問 自由にやらせてください。

6 / 19

- 第1問 2→3→4→1→5
- 第2問 ぼくは、お父さんのお金を使い果たしてなんてバカなことをしたんだ
- 第3問 ちゃんと元気でやっているかな？カゼをひいていないか心配だ、と思っていた。  
いつ帰ってきてもいいように用意して待っていよう、と思っていた。
- 第4問 自由に書かせて、神様の愛を教えてください。

6 / 26

- 第1問 ①(教会) (牢屋) ②(弟子) (殺意) ③(ダマスコ) (光) (迫害)  
④(イエス)
- 第2問 ①、②、⑥
- 第3問 子どもたちの信仰の度合いを見ながら、悔い改め、救い、献身へと導いてください。